

労働災害防止へ全力

**SAFETY
2024 本県から10人が受賞**



仙台市内で開かれたSAFETY2024

東北地方の公共工事
において無事故・無災
害に向けた取り組みを
さらに進めることを目
的に東北地方工事安全

施工推進大会（SAFETY2024、大会
実行委員長・西村拓東
（東北地方整備局長）が8
日午後、仙台市内で開

かれ、安全施工に貢献
した現場代理人58人や
優秀論文21編などを表
彰。本県からは10人が
受賞し、西村委員長か
ら表彰状が手渡され
た。大会では、表彰や
工事故防止対策の取
り組みの紹介などを通
し、関係者が一丸とな
って労働災害防止に全
力を取り組むことを誓
い合った。（受賞者は2
日付一面に掲載）

の目。そして摘み取る
危険の芽。みんなで築
く職場の安全」。

大会には、西村委員
長や日本建設業連合会
東北支部の勝治博支部
長、東北建設業協会連
合会の千葉嘉春会長、
発注機関、業団体の関
係者、受賞者ら約35
0人が出席した。

表彰に先立ち西村委
員長は、同整備局の発
注工事で死亡事故が立
て続けに発生している
ことを指摘し、「人材で
成り立つ建設業におい
て、安全は最優先事項」
と強調。死亡事故など
重大事故については、
「絶対に起こさない、
起こさせないという強
い意志を持つ必要があ
る」と訴えた。

「建設業は地域を支
える社会資本整備の担
い手であり、災害時に
は地域の守り手として

重要な役割を担ってい
る。関係者が連携し、
魅力ある安全な職場環
境の確立に向けた取り
組みを進めていきたく
い」と決意を新たにし
た。

表彰では、西村委員
長から現場代理人58人
と優秀論文21編、特別
賞1団体に対し表彰状
が手渡された。

本県関係では、国の
工事を施工した㈱千葉
建設、㈱中館建設、㈱

テラ、県の工事を担当
した㈱木材塗装工業、
兼田建設㈱、㈱澤里土
木工業、㈱伊藤組、㈱
平野組、東日本高速道
路の施工を担当した㈱

東北工商の現場代理
人、それに優秀論文で
豊島建設㈱の社員に表
彰状が手渡された。

大会では、特別賞を
受賞した宮城建設女性
の会2015の武山利
子会長が活動を報告し
たほか、日本橋梁建設

協会が工事故防止対
策の取り組みを紹介。
最後に、大会実行委

「危険に気付くあなた
の目。そして摘み取る
危険の芽。みんなで築
く職場の安全」など安

全の誓いを読み上げ、
関係者が一丸となり労
働災害防止に全力で取
り組むことを誓った。